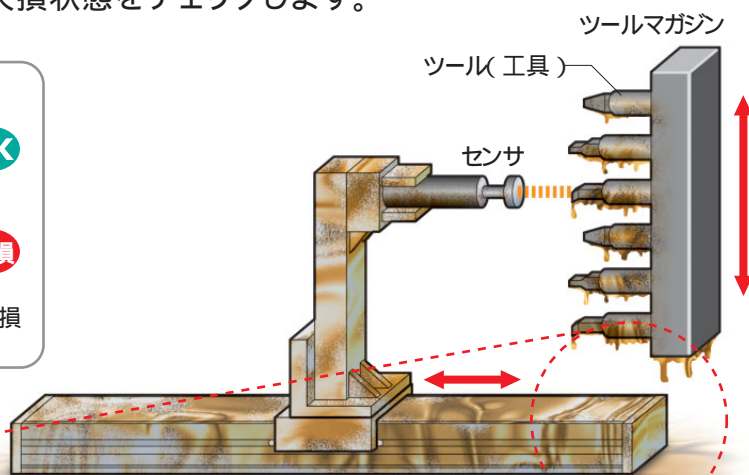
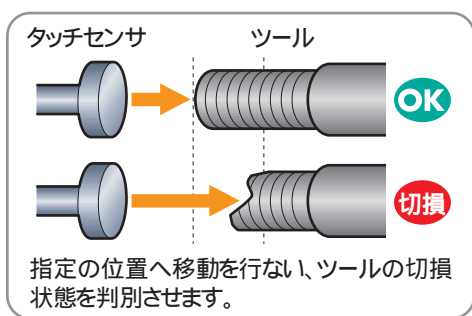


イニシャルコストが1/2に

工具折損感知装置(マシニングセンタ)

用途

マシニングセンタ内で使うツール(工具)の折損を確認する為の装置。
ATC(オートツールチェンジャー)内にスライダタイプを設置し、
タッチセンサのON/OFFで欠損状態をチェックします。



アクチュエータの外観
切削油がかかっている状態



ツールに付いた切削油が
アクチュエータに滴る環境。

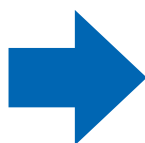
使用している製品機能・性能



解説

内製アクチュエータの場合

汎用の防滴モータ、またカバーリングを施し
測長用センサを用いて長さ検知していたが、
イニシャルコストで約80万円必要だった。
悪環境下の為、測長センサの耐久性が低く
突然の故障が半年に1度程あった。
発生の度にその対応に振回されていた。



アイエイアイの場合

防滴仕様を使う事により、イニシャルコ
ストを40万円にする事ができた。
ローコストで耐久性の高いタッチセンサ
1ヶで全ての切損チェックが出来る様
になった。
年に1度の定期点検のみで装置のロン
グランに対応。